

5 - 2 東海・南関東地域の地震活動（1985年11月～1986年4月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts, November, 1985 - April, 1986

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)は1985年11月から1986年4月までに東海・南関東地域に発生した地震（深さ90km以浅）の月別震央分布図である。また、第2図は全期間（6ヶ月間）の震央分布図である。各月のおもな地震活動は次の通りである。

<11月>

伊豆半島東方沖では前月に引き続き10日頃まで群発地震活動があった。

6日00時31分には千葉県中部（M:5.0 H:63km）の地震により、東京、横浜、千葉で震度3を観測した。

22日13時17分、茨城県南西部（M4.9 H:56km）に発生した地震では、東京、横浜、宇都宮、柿岡で震度3であった。

また、27日09時02分には若狭湾沿岸（M5.1 H:6km）で地震が発生し、京都、舞鶴、敦賀、奈良、豊岡で震度3となった。

<12月>

16日04時35分には伊勢湾でM4.0の地震が発生した。（名古屋、岐阜等で震度1）

20日20時41分には駿河湾にM3.7の地震が発生し、静岡、網代で震度1であった。その後同地域では27日、3回、31日1回の地震があった。

<1月>

3日07時56分大阪府中部でM4.2の地震があり、京都、奈良で震度1であった。なお、この地震の震源の深さは84kmであり、この地域としては比較的珍しい地震である。

28日から2月3日にかけて、浜名湖南方沖約100kmの東海沖でやや活発な地震活動があった（別報告参照）

29日05時14分は伊豆大島南西沖にM4.2の地震があり、大島では震度2であった。

<2月>

1日から4日にかけて伊豆大島南西沖に6回の地震が発生し、最大は2日のM3.5（大島で震度1）であった。

<3月>

3日から14日にかけて岐阜県中部で地震活動があり、最大は7日03時25分のM5.1の地震であった。この地震により高山では震度3を観測した。

静岡県西部の春野町付近では3月から5月にかけて地震活動が活発化した（別報告参照）。

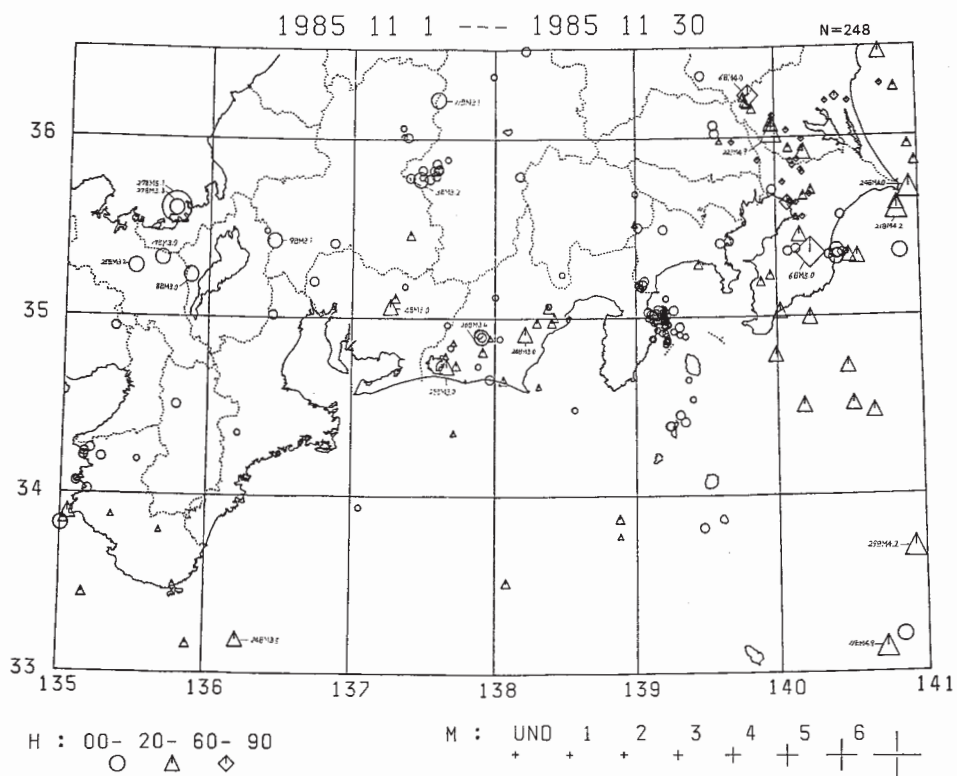
<4月>

1日から3日にかけて伊豆大島北部沿岸で群発地震があり、有感地震は震度3：5回を含む38回となった。（別報告参照）

なお、1985年1年分の震央分布図を第3図に示す。

第4図(a)、(b)、(c)は東海地方における地震活動の変化を示したものである。

最近では、C地域において、1985年10月から11月、および12月の伊豆半島東方沖地震による地震回数の増加が見られる程度で大きい変化はない。

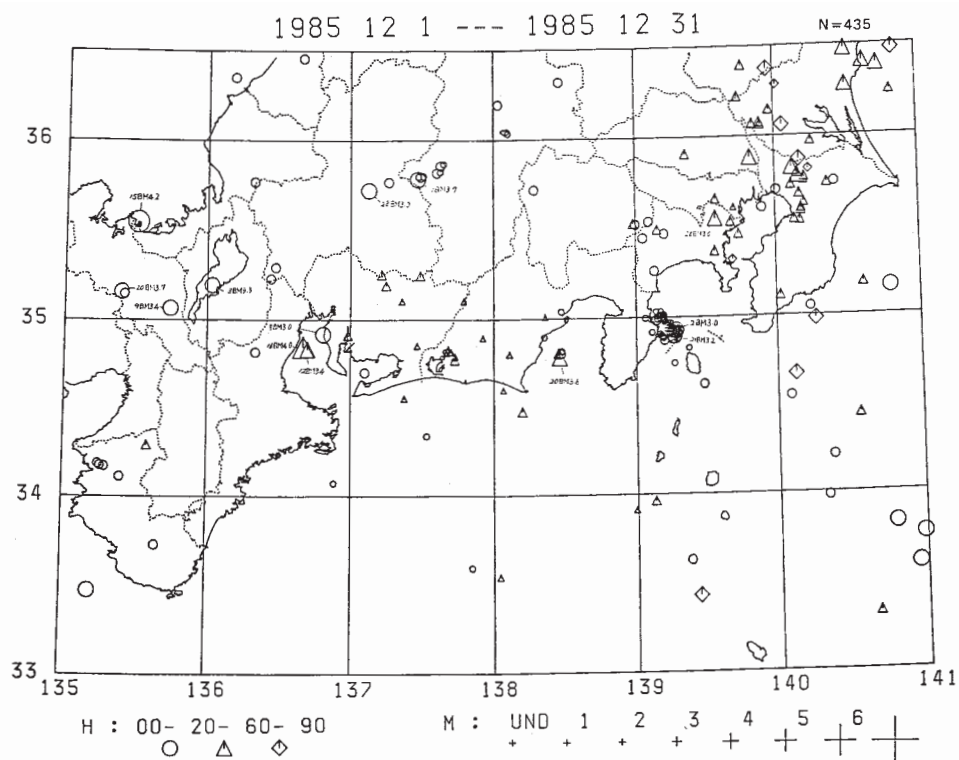


第1図 東海・南関東地域の月別震央分布 (1985年11月～1986年4月) (震源の深さは90 km以浅)

(a) 1985年11月の震央分布図

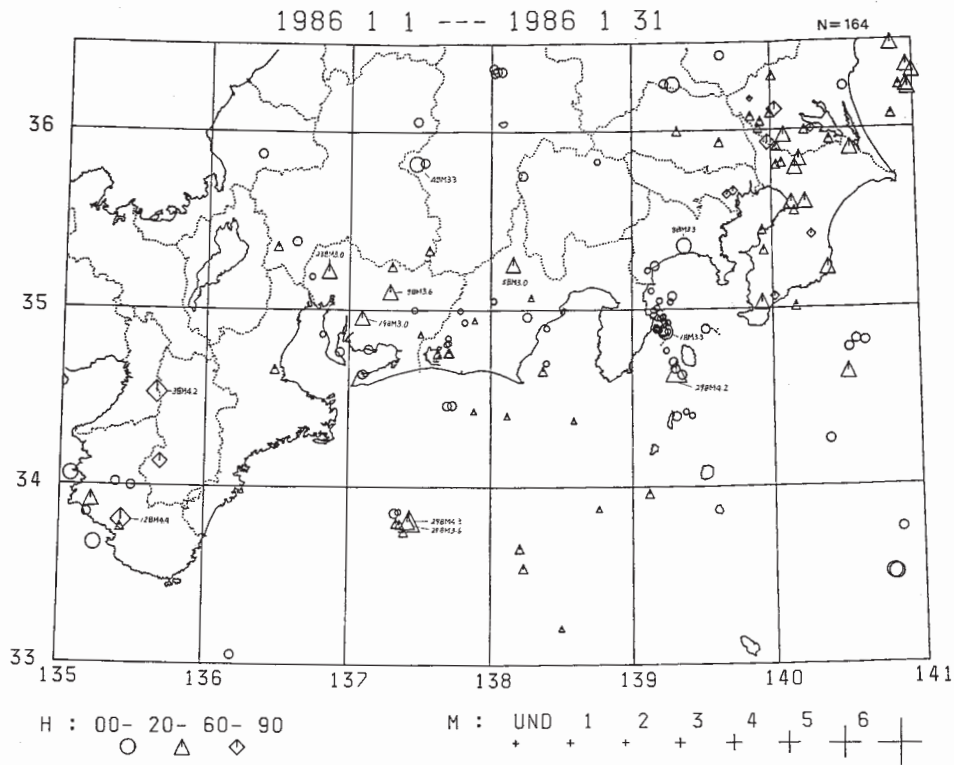
Fig. 1 Monthly distributions of earthquakes in the Tokai and southern Kanto Districts, November, 1985 - April, 1986. (focal depths are less than 90 km.)

(a) Distribution of earthquakes in November, 1985.



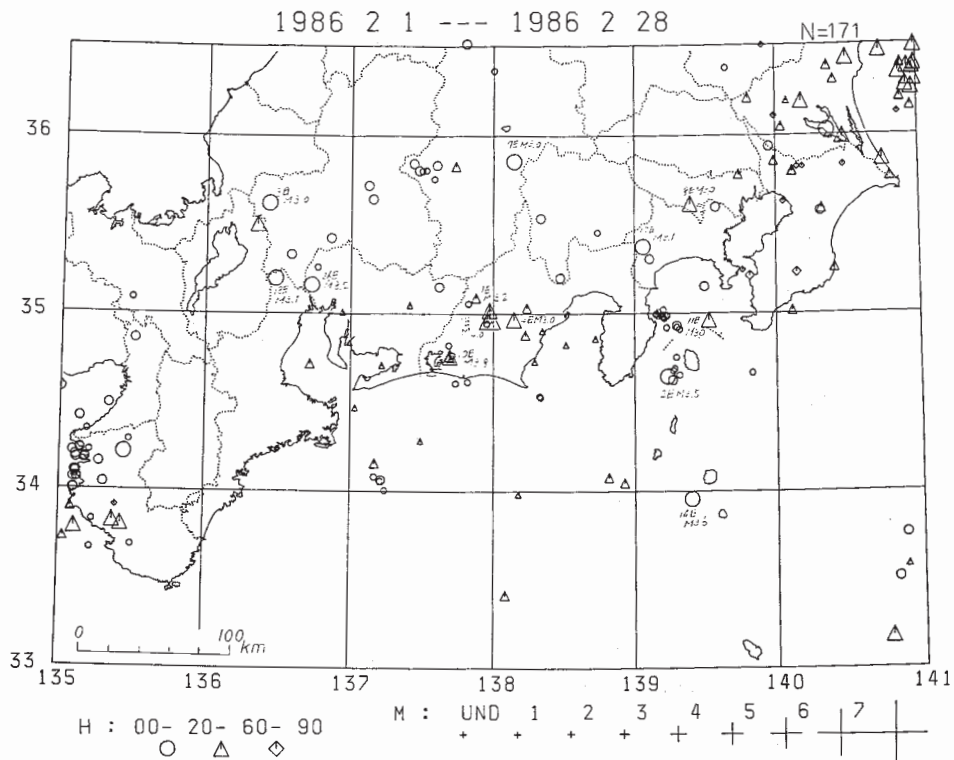
(b) 1985年12月の震央分布図

(b) Distribution of earthquakes in December, 1985.



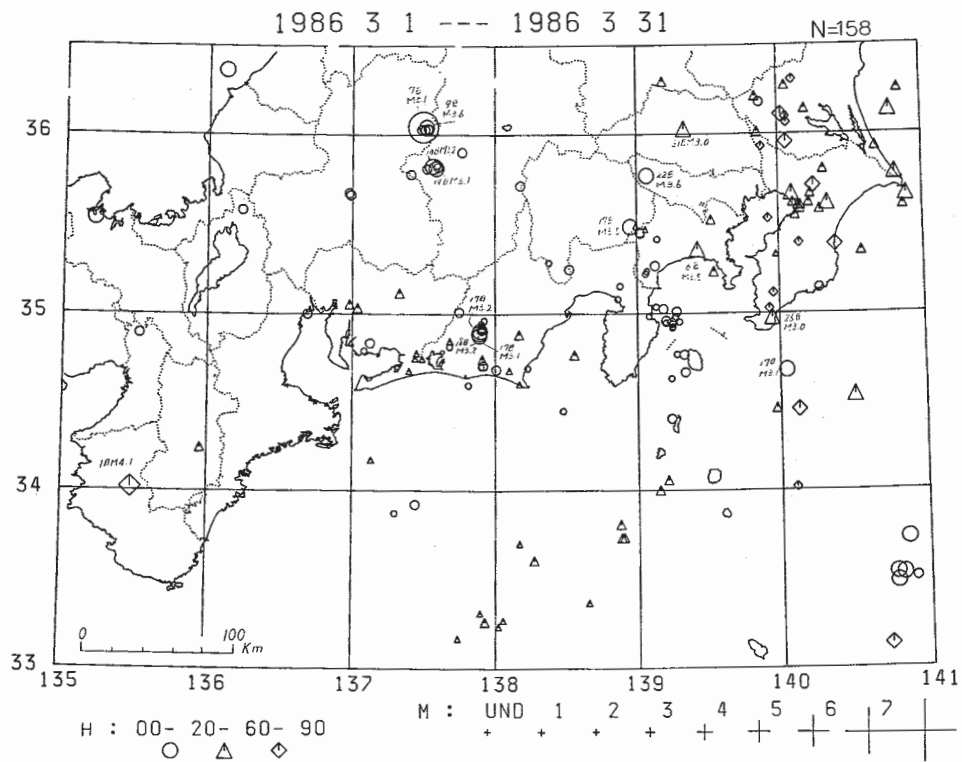
(c) 1986年1月の震央分布図

(c) Distribution of Earthquakes in January, 1986.

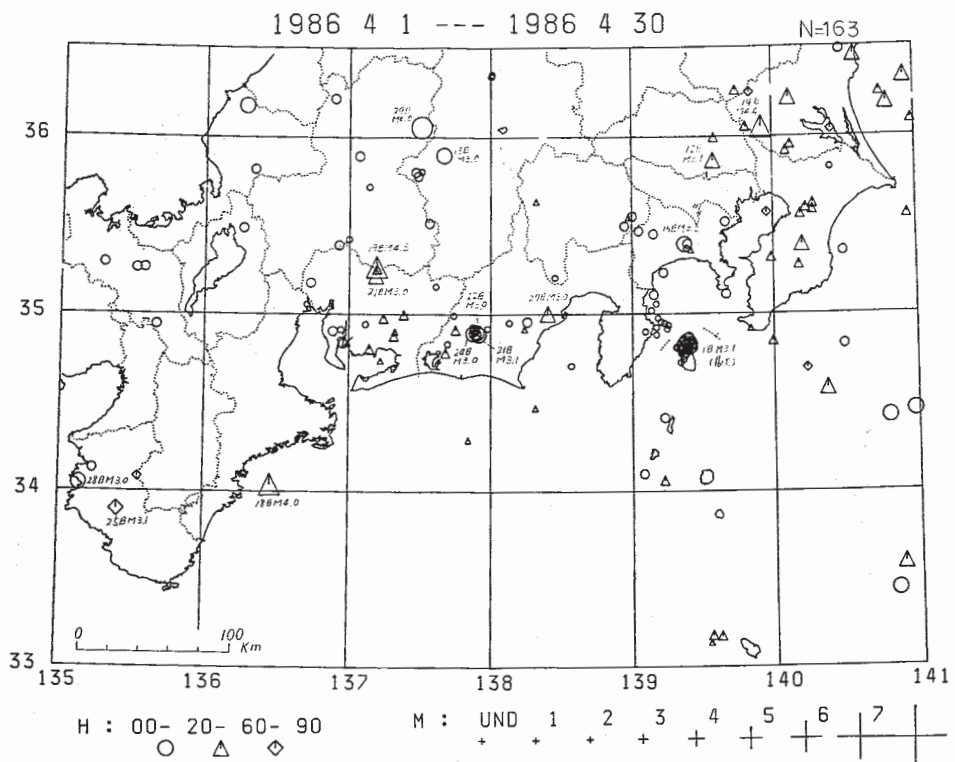


(d) 1986年2月の震央分布図

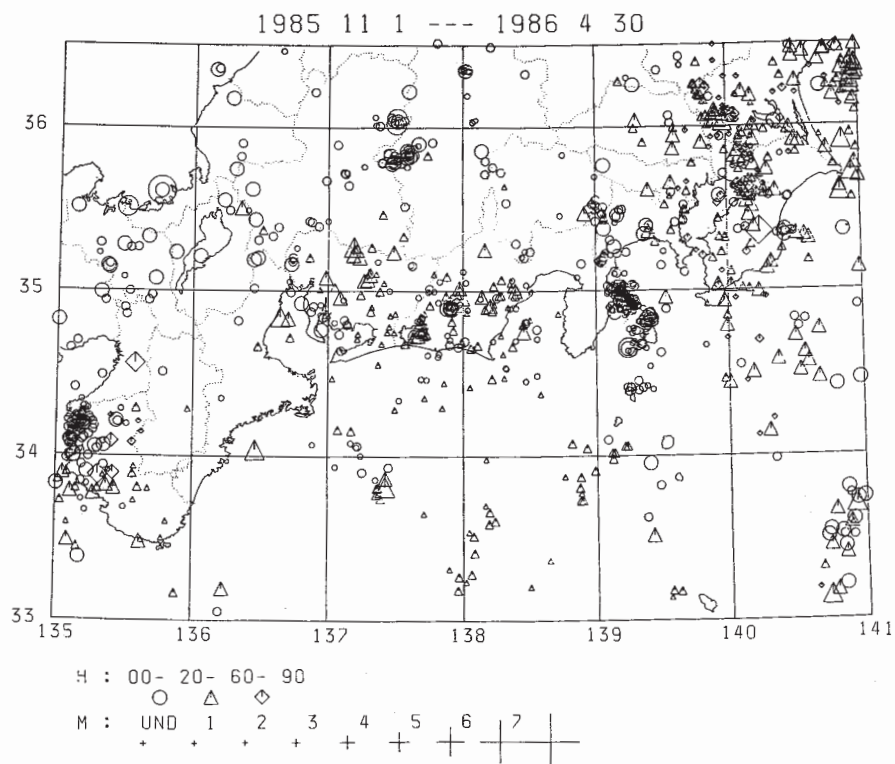
(d) Distribution of earthquakes in February, 1986.



(e) 1986年3月の震央分布図
(e) Distribution of earthquakes in March, 1986.

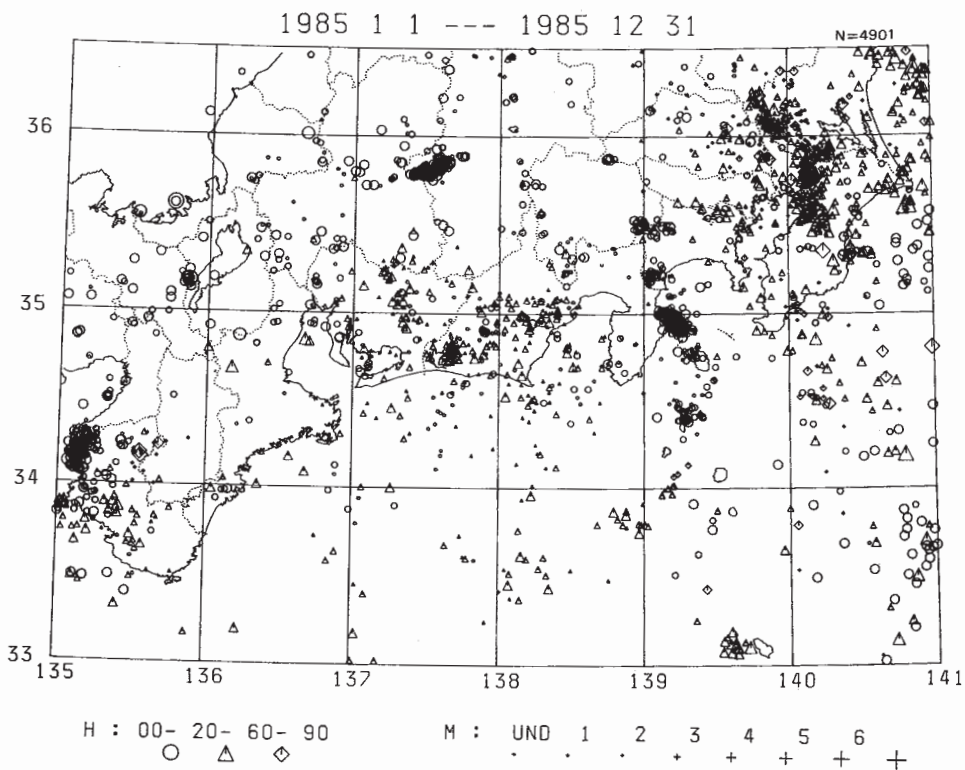


(f) 1986年4月の震央分布図
(f) Distribution of Earthquakes in April, 1986.



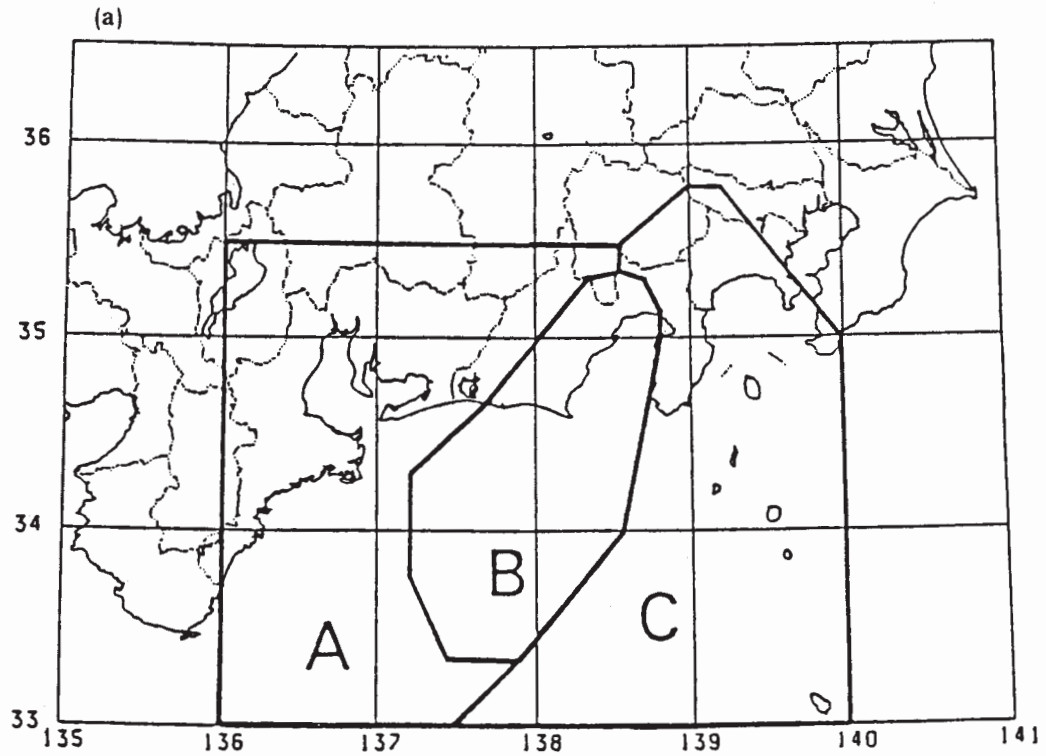
第2図 1985年11月～1986年4月の東海・南関東地域の震央分布図
 (震源の深さは90 km以浅)

Fig. 2 Distribution of earthquakes in the Tokai and southern Kanto Districts, from November, 1985 to April, 1986.



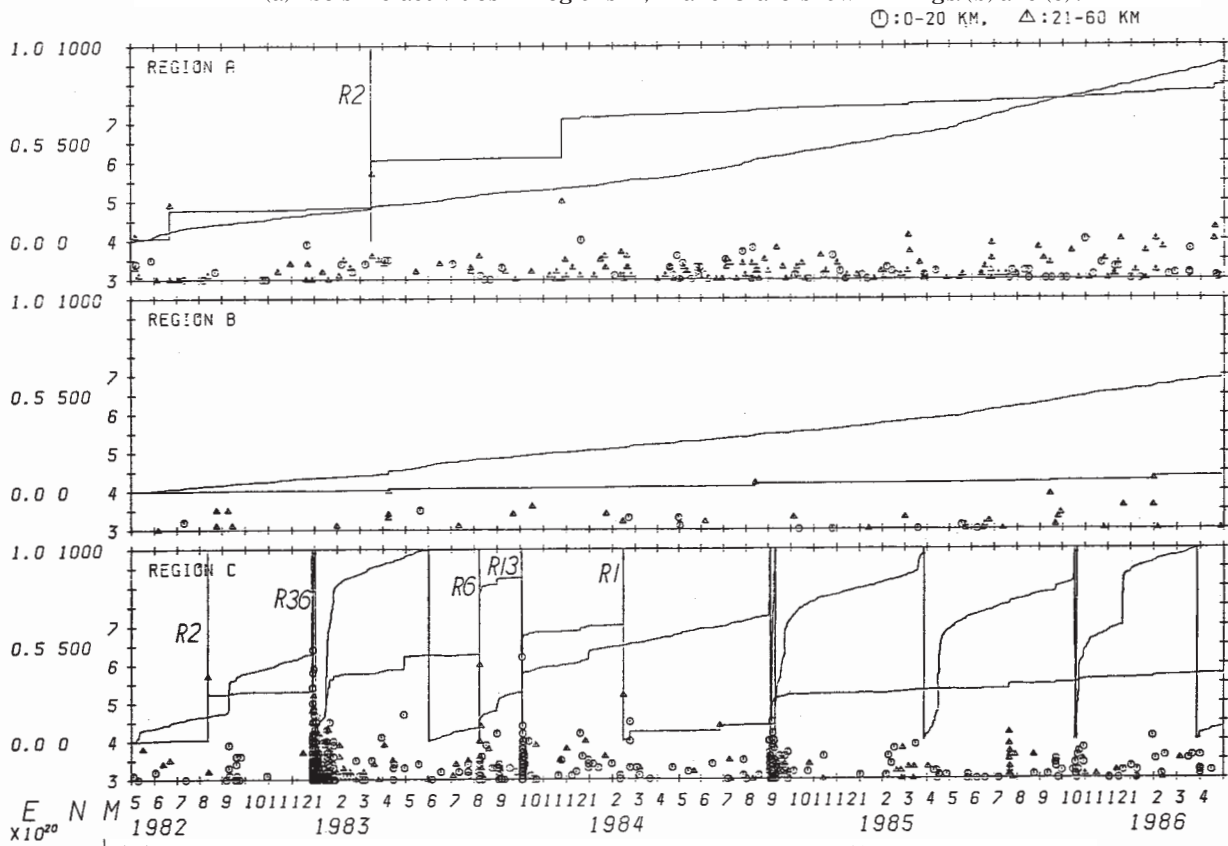
第3図 1985年の東海・南関東地域の震央分布図

Fig. 3 Yearly distribution of earthquakes in 1985.



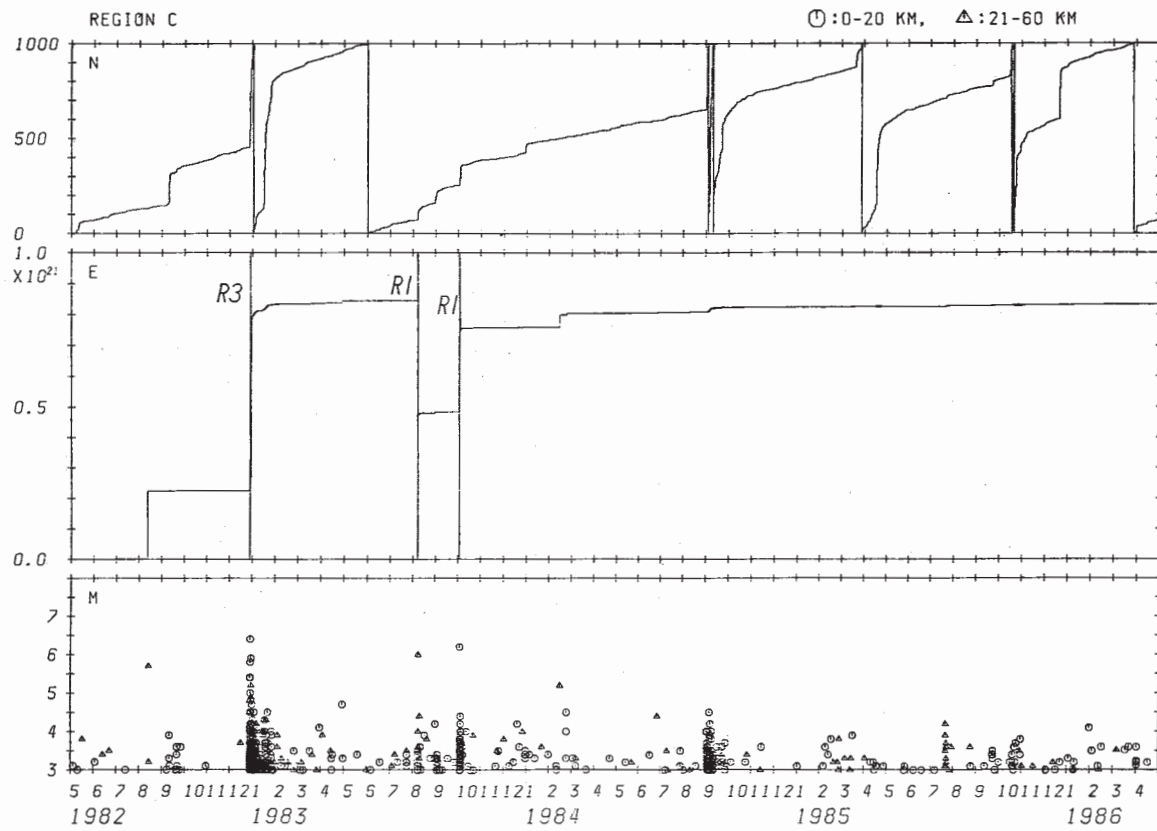
第4図 東海地方における地震活動の変化 (1982年5月～1986年4月)
 (a) 地域区分図。图中A, B, Cの地域について (b), (c) 各図に示す。

Fig. 4 Changes of seismic activities in the Tokai region, May, 1982 - April, 1986.
 (a) Seismic activities in regions A, B and C are shown in Figs. (b) and (c).



(b) A, B, C地域のM-T図, 放出エネルギー及び積算地震回数を示す。

(b) Three parameters, that is, accumulated frequencies (smoothly ascending curve), accumulated energy releases (stepwise ascending curve) and magnitude (circles and triangles) are shown.



(c) 伊豆地方について拡大して示す。

(c) For the region of C (Izu region), above three parameters are shown separately.